

●パブリックコメント集計結果一覧表

対象事案の名称:小美玉市新まちづくり構想～新たな交流を目指して～(案)

1. 意見提出者数 2人

提出方法	人数
郵送	
ファクシミリ	
電子メール	
電子申請	1
直接持参	1
合計	2

2. 提出された意見の内容及び市の考え方

NO	意見の対象箇所	意見の内容	意見数	市の考え方(回答)
1	概要版p4-5全体像について	【意見】 ICTやAIや自動化などの最新技術による新しい交流をもっと推進すべきと考えます。 【根拠】 総合計画に基づいているのでやむを得ないとは思いますが、施設や道路などハード対応がメインとなっていて、そもそもの発想が保守的と感じます。道路施設インフラ投資で活性化される時代ではないと考えます。自動運転バスやドローンタクシーや空飛ぶバスやVR交流や5G通信網など、もっと最新の夢のある構想が欲しいです。	1	ICTやAIや自動化などの最新技術を活かした新しい交流は、本市にとっても重要な要素となっております。 今後の詳細な事業の実施段階では、現在確立されている技術については小美玉市デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画との整合を図るとともに、現時点で確立されていない最新技術等については国の動向を踏まえ、検討してまいりたいと考えております。
2	3ページ目地域づくりイメージ	これではいつまで経っても旧〇〇は△△というメッセージから脱せないと思う。これからはそれぞれの地域でなく特性を生かす地区づくりが市として一体感醸成につながると思います。例えばこんな感じです。各地区が有機的に影響し合ってエネルギーを発する、そのような姿と思います。	1	本構想は、3つの地域の個性を際立たせ、それぞれの個性を深化するとともに、これらの要素を連携することにより、市全体として大きな魅力創出につなげることを目指すものです。
	概要版1ページ目の図	新まちづくりの位置づけをみると第2次総合計画・マスタープランを整理しこの中に百里飛行場新交流拠点整備基本計画と百里飛行場周辺財産活用基本計画がふくまれているため併せてコメントします。全事業に共通して言えることは、いずれ財源予算ができて計画案が動き出すときは地区住民とコミュニケーションよく進めてほしいということです。	1	今回の計画策定にあたりましては、学識経験者をはじめ、市民や関係団体等によって構成される「小美玉市新まちづくり構想等策定委員会」を組織し、ワークショップ形式にて、多様なご意見をいただきながら進めてまいりました。今後の実施の段階においても、地区住民とのコミュニケーションを図りながら事業を進めてまいりたいと考えております。
	空港周辺関係について	公共施設一人当たり床面積の点からいうと廃校等で減る分があるとはいえ空港周辺に広大な公共施設を置くという計画は疑問に感じます。 立ち位置がややふやなそ・ら・らの食品公社工場部分以外の商用部分を一度全部壊してコンセプトからきちんと作りこんでいくことが良いと思います。そして必要なら周辺をどう広げていくかという順番で考えることが良いと思います。	1	茨城空港は、航空機の利用者及び来場者数がコロナ禍前の水準に回復してきております。さらに、茨城空港を発着する航空機の増便が期待されていることから、空港周辺の賑わいづくりの必要性がより一層高まっております。百里飛行場前の計画は、都市施設である都市公園を有効活用する計画であることから、「小美玉市公共施設等総合管理計画」、及び「小美玉市公共施設建築物系個別施設計画」と整合を図りながら進めてまいりたいと考えております。 また、令和4年10月に策定された「小美玉市まちづくり構想基本計画－空のえき「そ・ら・ら」の拡張に係る計画－」を踏まえ、今後の実施の段階においては、百里飛行場前と空のえき「そ・ら・ら」を一つのエリアとして計画することで、それぞれの役割と機能を整理しながら、空港周辺の賑わいづくりを進めてまいりたいと考えております。
	羽鳥駅+周辺市街地関係について	羽鳥小納場小統廃合の時、コミュニケーション不足から発展しなかったと聞いたことがあります。この計画に納場地区の意見がどの程度入っているのかわかりませんが両地区の融和や将来の学校統廃合に寄与することを期待したいです。	1	本構想は将来の学校統廃合に寄与するものではありませんが、今後の実施の段階におきましても、羽鳥駅前及び羽鳥市街地については、地区住民とのコミュニケーションを図りながら事業を進めてまいりたいと考えております。
		合計	5	